



人生は、八合目からが
おもしろい。



吉永小百合

のん
木村文乃 若葉竜也/工藤阿須加/茅島みずき 和田光沙
円井わん 安藤輪子 中井千聖/長内映也香
三浦誠己 金井勇太 カトウンスケ 森健作 濱山マユ 浅見小四郎

天海祐希/佐藤浩市

監督:阪本順治
脚本:坂口理子 音楽:安川午朗
原案:田部井淳子「人生、山あり」(朝日新聞)
製作総指揮:木下直哉

エグゼクティブプロデューサー:武部由実子 プロデューサー:高島理生子 アソシエイトプロデューサー:藤井友紀子
音楽プロデューサー:清原大 撮影:池田知雄 照明:清原孝一 録音:柳川隆夫 美術:杉本 亮 美術:佐藤孝之
編集:菅原信一 衣装:大塚 真 ヘアメイク:豊田千子 音響効果:小島 豊 字幕:エンタープライズ(山崎英二 興村他人
助監督:小野寺昭博 製作担当:松田真一 監:ランディプロデューサー:鈴木 真弘
製作:「てっぺんの向こう」にあなたがいる製作委員会 木下グループ 朝日新聞社 読売新聞社 毎日新聞社
制作プロダクション:キナフィルムズ/ドラゴンフライ 配給:キナフィルムズ
特別協賛:三井物産のワンダフル 協賛:朝日放送ラジオグループ
特別協賛:山崎製パン 〇五島〇豊 五島協力:JAPAN AIRWAYS
後援:東京観光協会 ヘアメイク協力:アトキーズ
© 2025『てっぺんの向こう』にあなたがいる製作委員会

てっぺんの 向こうに あなたがいる

10.31 FRI teppen-movie.jp



主催 坂戸市文化会館
(指定管理者:株式会社ケイミックスパブリックビジネス
株式会社東映エージエンシー
©2025『てっぺんの向こう』にあなたがいる製作委員会

2026年

【上映時間130分】※開場は各回30分前

6月18日(木) ①10:00 ②13:30

坂戸市文化会館

ふれあホール

〒350-0228 埼玉県坂戸市元町17-1

【アクセス】坂戸駅から徒歩約15分、北坂戸駅から徒歩約10分
坂戸市民バス(さかつちワゴン)さかど線「坂戸市文化会館」
または、すぐる線「坂戸市文化会館東」下車

※座席に限りがありますので、満席の際にはご入場をお断りする場合がございます。



お問合せ ☎049-282-0100 (受付時間 9:00~21:30)

チケット

全席自由・税込

前売 1,000円/当日 1,200円

※子ども・シニア料金はございません。
※ムビチケのご利用はできません。
※車いすでお越しの方は、チケット購入前に坂戸市文化会館「ふれあ」
までお問合せください。

発売日・プレイガイド

5月8日(金)から



- トールツリーオンラインチケットサービス 9:00~ ↑
- 坂戸市文化会館「ふれあ」 ☎049-282-0100
- 坂戸市文化施設 オルモ ☎049-282-2511
・窓口 9:00~ ・電話 13:00~

女性初のエベレスト登頂から50周年を迎える2025年。
 阪本順治監督×吉永小百合による
 『北のカナリアたち』以来、13年ぶりのタッグでおくる
 壮大なスケールの冒険譚がはじまる!!



「人はなぜ山に登るのか?」「そこに山があるから」――

かつてこんな名言を残した登山家があった。困難な道、簡単な道…登るも留まるも、それを決断するのも歩むのも自分自身であり、誰の人生においてもそれは同様だ。あなたはなぜ、その山を、その道を選ぶのだろうか?これは、自分の全てをかけて“てっぺん”に挑み続けた多部純子という女性登山家とその家族の物語である。

主人公・純子を演じるのは今作で映画出演124本目となり、日本映画界を牽引する俳優・吉永小百合。純子を支える夫・正明を演じるのは数々の映画賞を受賞し、圧倒的な存在感を誇る名優・佐藤浩市。純子の盟友であり、エベレスト登頂の相棒でもある北山悦希役には、吉永と映画『最高の人生の見つけ方』以来5年ぶりのタッグとなる天海祐希。青年期の純子役はアーティスト活動から俳優活動まで多方面で活躍し、その存在感と演技が絶賛されるのん。また、木村文乃、若葉竜也、工藤阿須加、茅島みずきと険しい高峰へ向けて実力派の俳優たちが揃った“パーティー”となった。



STORY 1975年、エベレスト山頂に向かう一人の女性の姿。一步一步着実に山頂(てっぺん)に向かっていくその者の名前は多部純子。日本時間16時30分、純子は女性として初の世界最高峰制覇を果たした―しかしその世界中を驚かせた輝かしい偉業は純子に、その友人や家族たちに光を与えると共に深い影も落とした。晩年においては、余命宣告を受けながらも「苦しい時こそ笑う」と家族や友人、周囲をその朗らかな笑顔で巻き込みながら、人生をかけて山へ挑み続けた。登山家として、母として、妻として、一人の人間として…。

純子が、最後に「てっぺん」の向こうに見たものとは―。



エグゼクティブプロデューサー:武田中実子、プロデューサー:富永理生子、アソシエイトプロデューサー:相井友紀子、音楽プロデューサー:津島玄一、撮影:笠松則通、照明:渡邊孝一、録音:照井康政、美術:杉本亮、装飾:佐藤孝之、編集:若嶋信一、衣裳:大塚 道、ヘアメイク:奥川京子、音響効果:小島 彰、VFXスーパーバイザー:白倉優二、興行映人:助監督:小野寺明洋、製作担当:松田憲一、ラインプロデューサー:鈴木嘉弘、製作:てっぺんの面でおにあなた、製作委員会:水戸グループ、朝日新聞社、読売新聞社、報知新聞社、制作プロダクション:キヌフィルムズ、ドワゴンファイ、配給:キノフィルムズ、協力:一般社団法人田部井淳子基金、特別協賛:三井不動産レジデンシャル、協賛:保険屋 スターグループ、特別協力:JR東日本、五五の鳥、宣伝協力:JAPAN AIRLINES、後援:東京都医師会、ヘアメイク協力:A-1クリエイティブ